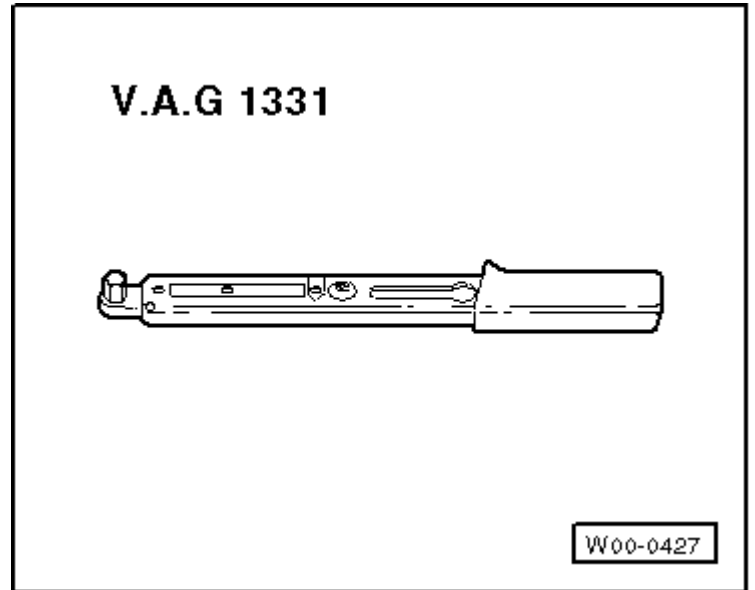


ブレーキ パッド取り外し・取り付け(PR 1ZG)

トルク レンチ -V.A.G1331-

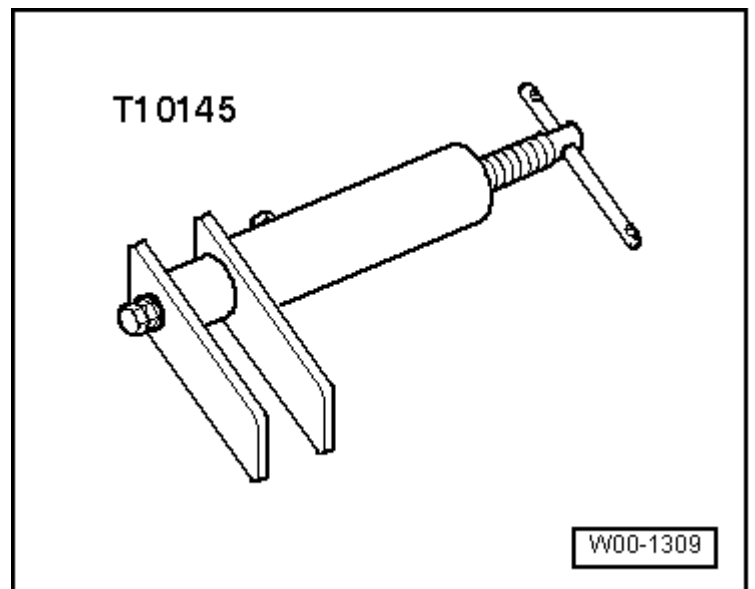


ピストン リセット アプライアンス -T10145-

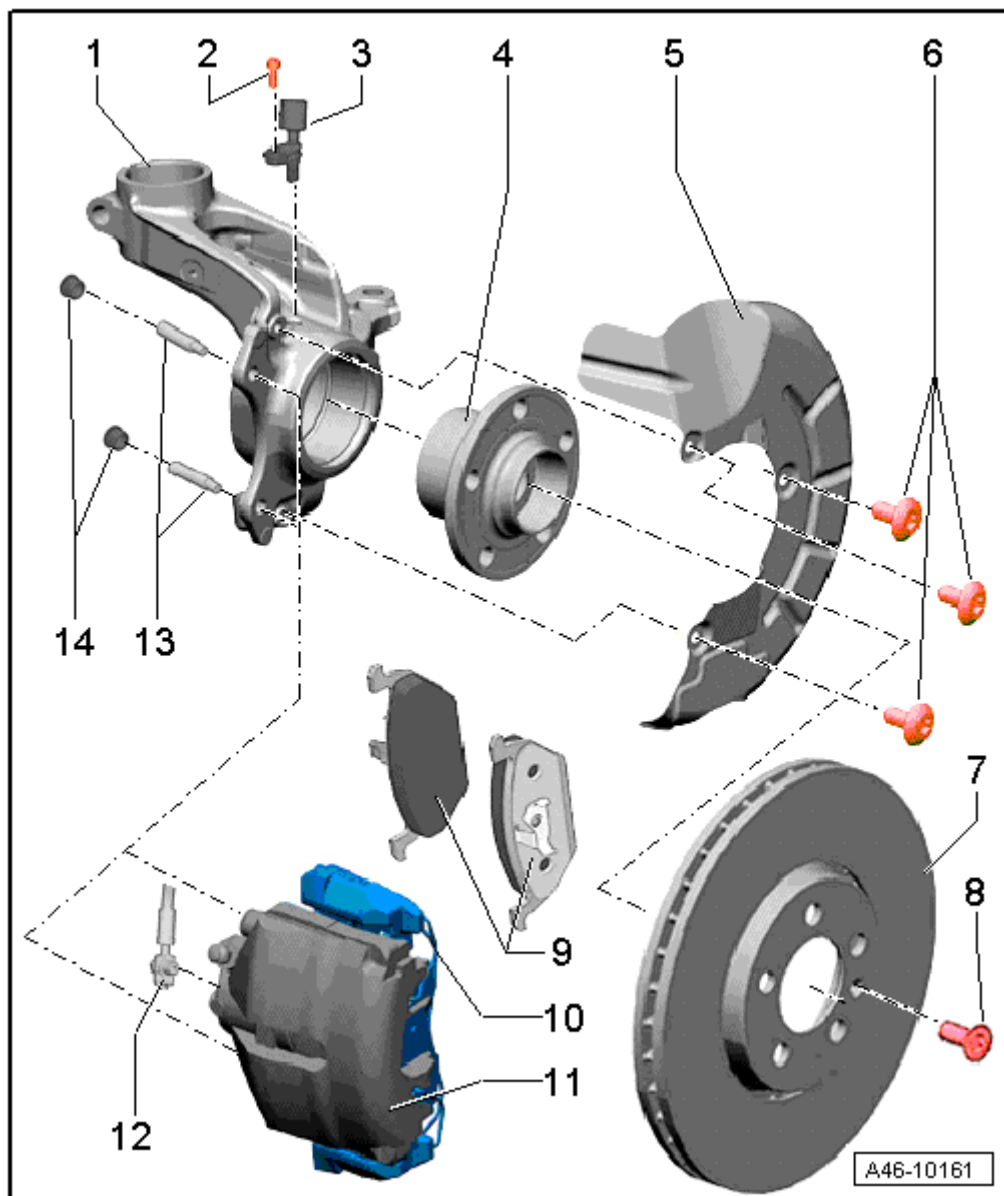
取り外し

ブレーキ パッドを再使用する場合は、取り外すときにマークを付けておくこと。ブレーキが片効きする原因となるため、必ず同じポジションに取り付けること。

- ホイールを取り外す。



- 保護キャップ -14- を取り外す。



- ガイドピン(2本) -矢印- をブレーキ キャリパーから取り外す。
- ブレーキ キャリパーを外し、ブレーキ キャリパーの重みでブレーキ ホースに負荷がかかったり、損傷させないようにワイヤーで固定する。



警告!

ブレーキ キャリパーをブレーキ ホースで下げた状態にしないこと。

- ブレーキ パッドをブレーキ キャリパーから取り外す。

清掃:

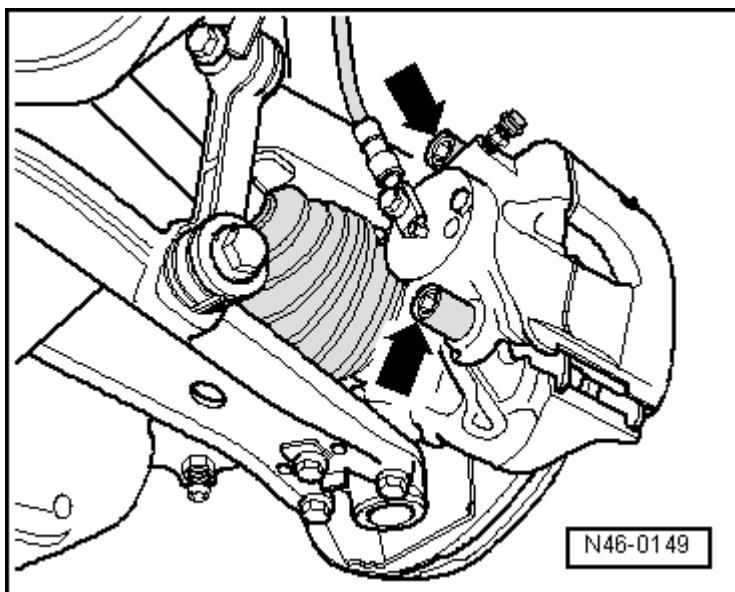


警告!

圧縮空気によって生じるブレーキ ダストは人体に有害であるため、ブレーキ システムに圧縮空気を吹き付けないこと。

- ブレーキ キャリアとブレーキ パッドの接触面を入念に清掃し、腐食を取り除く。
- ブレーキ キャリパーを清掃する。

ブレーキ キャリパーの清掃には、アルコールのみを使用すること。



と。

取り付け

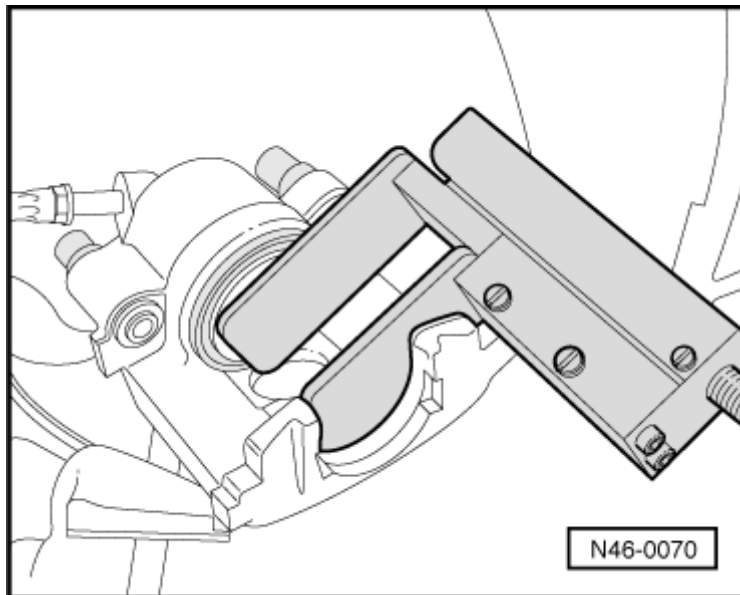
ピストン リセット アプライアンスを使用して、ピストンをシリンダーに押し込む前に、ブレーキフルードをブレーキフルードリザーバーから抜き取る。リザーバーにブレーキフルードが充填されていると、ブレーキフルードが流出し、パーツが損傷する可能性がある。

- ピストンを押し込む。
- ブレーキパッドをブレーキキャリパーおよびピストンに取り付ける。

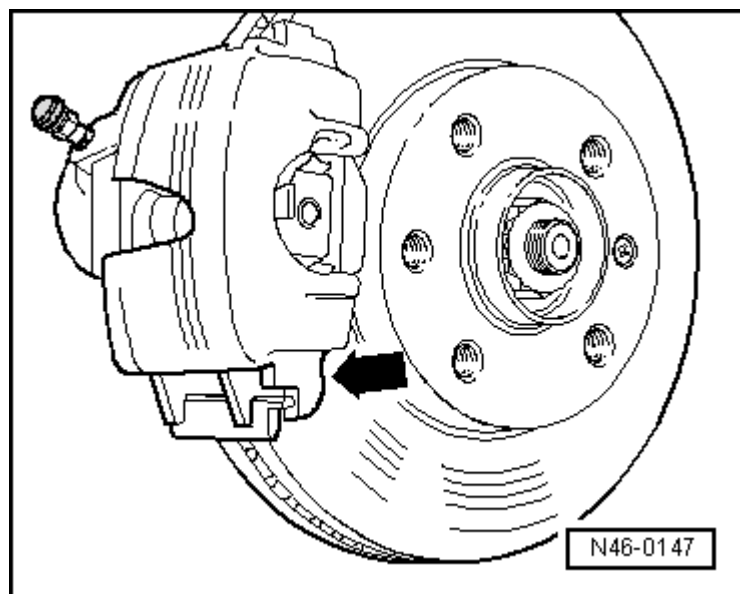


注:

ブレーキパッドが正しいポジションに取り付けられているか確認すること。



- ブレーキパッドを取り付けたブレーキキャリパーをホイールベアリングハウジングに取り付ける。
- 最初に、ブレーキキャリパーをブレーキキャリアの下部 -矢印- にセットする。
- ブレーキパッドを取り付けたブレーキキャリパーを、さらにブレーキディスクに押し込む。
- ブレーキキャリパーのスタッドは、ブレーキキャリアガイドの後方にあること。
- ブレーキキャリパーをガイドピン(2本)でブレーキキャリアに固定する。



- ガイドピン(2本) -13- を締め付ける。
- 両方の保護キャップ -14- を取り付ける。
- ホイールを取り付ける。

ホイールボルトの規定トルク **ランニングギヤ、アクスル、ステアリング; Rep.-Gr. 44**



注:

- ◆ ブレーキパッド交換後は、停車状態でブレーキペダルを数回強く踏み込み、パッドを所定の作動位置に押し込む。

シヨンに落ち着かせること。

- ◆ ブレーキパッド交換後は、ブレーキフルードレベルを点検すること。



注意!

走行前、ブレーキが正しく機能するか確認すること。

